

シャトレーゼのシンガポール事業会社が 決済プラットフォームに Adyen を採用

店舗ごとに異なっていた決済環境を統一し、
フランチャイズ加盟店におけるオーナー負担の軽減とお客様サービスの向上を同時にサポート

東京、2026年5月28日 – 多くの大手企業に選ばれる決済プラットフォームを提供する [Adyen](#) は、日本発の菓子メーカーである株式会社シャトレーゼ（以下、シャトレーゼ）のシンガポール事業会社である CHATERAISE (SINGAPORE) PTE LTD に、当社の決済プラットフォームの採用が決まったことをお知らせします。シンガポールのフランチャイズ加盟店オーナーは開業してすぐに、Adyen の決済プラットフォームを利用できるようになります。これにより、各加盟店オーナーの負担を軽減するとともに、お客様サービスの向上を支援します。

シャトレーゼは、菓子専門店「シャトレーゼ」を日本国内で 895 店舗（YATSUDOKI 含む）、海外 7 カ国 163 店舗展開する菓子メーカーです。高品質で安心・安全なスイーツを提供するブランドとして、日本をはじめ海外でも着実にファンを増やしています。シンガポールでは、CHATERAISE (SINGAPORE) PTE LTD を立ち上げ、現在フランチャイズも含め、計 37 店舗を展開しています。（2026年5月1日時点）

The Adyen logo is displayed in white lowercase letters on a solid green rectangular background.The Châteraisé logo features a brown roof-like shape above the brand name 'CHÂTERAISE' in brown uppercase letters, all on a light gray background.

背景：フランチャイズ方式による店舗運営の課題

シャトレーゼは、現在展開する店舗の約 90%がフランチャイズ店舗であり、シンガポールでも直営 3 店舗を除く 34 店舗が各フランチャイズオーナーに運営されています。これまでは、各オーナーがそれぞれ個別に現地の金融機関や決済事業者と契約を行っていたため、各加盟店によってお客様が利用できる決済手段が統一されていませんでした。

Adyen 採用の決め手：1 つの決済プラットフォームで「課題解消」と「サービス向上」を支援

当初、Adyen はシンガポールの南洋理工大学構内にある無人店舗 1 店舗でのみ導入されていました。が、その実績とリレーションを背景に、今回国内で展開している残り 36 店舗への導入が決まりました。

フランチャイズ加盟店オーナーの負担を軽減：

今回の導入により、今後シンガポールでフランチャイズ加盟店を開業する際には開業時点から Adyen の決済プラットフォームを利用できるようになります。これによりオーナーが個別に金融機関や決済事業者と契約を行う必要がなくなり、店舗開業時におけるオーナーの負担が軽減されます。併せて、新規店舗の決済導入期間が従来の 10 日間から 3 日に短縮されます。また、Adyen の決済プラットフォームにある Terminal Fleet Manager 機能を通じて、決済端末のアップデートやトラブルシューティングを本部で一括で行えるようになり、現場の手間をかけず常に端末を最新かつ安全な状態に保つことができます。

お客様の利便性向上：

シンガポール国内で決済プラットフォームが統一されることで、店舗ごとに利用可能な決済手段のばらつきを解消します。また店舗に応じて好まれる決済手段を分析し、柔軟にカスタマイズを行うことも可能です。最新のストレスフリーな決済体験をお客様に提供することによって、お客様の利便性向上に貢献します。

購買データの戦略的活用を通じた接客品質の向上：

Adyen の決済プラットフォームにより、電話注文と実店舗の決済データを統合し、チャンネルを横断した顧客理解を実現します。高機能決済端末「S1F2」による顧客識別技術を活用することで、お客様がカードをかざすだけで、スムーズな識別と購買履歴の紐付けが可能になります。また、過去の購入履歴に基づき「前回のお菓子はお口に合いましたか？」といったパーソナライズされた声掛けができる環境を全店舗で実現できます。デジタルの力で決済を「事務的な手続き」から「心を通わせる接客の機会」へと進化させ、ブランド体験の価値を高めます。

両社コメント

CHATERAISE (SINGAPORE) PTE LTD 取締役の松岡 正将氏は、次のように述べています。

「この度、Adyen 社を採択することで、シンガポール国内全店舗において統一された決済環境を提供するとともに、購買データを戦略的に活用できる基盤を整えることができました。当社はフランチャイズ方式で事業を展開しており、Adyen 社の決済プラットフォームは、各加盟店が個別に金融機関等と契約する手間を解消するだけでなく、安全かつ柔軟な決済手段を可能にし、店舗運営の効率化とサービス品質の向上を同時に実現します。」

Adyen の日本カントリーマネージャーであるアダム・ブラウンスタイン (Adam Brownstein) は、次のように述べています。

「日本を代表する菓子メーカーであるシャトレゼ様の海外事業会社パートナーに選定いただいたことを、心より光栄に思います。独自の『ファームファクトリー』モデルを軸に、フランチャイズ方式でグローバルな成長を遂げる同社にとって、複雑な決済インフラの簡素化はさらなる拡大の鍵となります。私たちは、シャトレゼグループのグローバルな挑戦をテクノロジーの側面から強力にサポートしてまいります。」

Adyen について

Adyen (AMS: ADYEN) は、大手企業に最適なフィンテックプラットフォームです。エンドツーエンドの決済機能、データに基づく洞察、金融商品を単一のグローバルソリューションとして提供することで、企業がより迅速に目標を達成できるよう支援します。世界中にオフィスをもつ Adyen は、LVMH、Meta、On Japan、SHEIN、Uber、L'Oréal、adidas などのお客様にサービスを提供しています。今回の加盟店追加における CHATERAISE (SINGAPORE) PTE LTD との協業関係は、Adyen が長年にわたり既存および新規加盟店とともに継続的に成長してきたことを示すものです。

株式会社シャトレゼについて

1954 年に焼菓子店「甘太郎」を創業。1967 年にシャトレゼに社名を変更しました。創業以来、「おいしいものを、お値打ち価格で」をモットーに、いち早く菓子製造のオートメーション化を図り、農場、工場、店舗を一体とした「ファームファクトリー」という独自のビジネスモデルを確立。素材と品質にこだわった製品は、洋菓子、和菓子、アイスクリーム、パンなど 400 種に及びます。地域に愛されるお菓子屋をめざし、フランチャイズ店を含む直売店を、国内 895 店舗 (YATSUDOKI 含む)、海外 7 ヶ国 163 店舗 (5 月 1 日時点) で展開しています。